

第2学年 道徳学習指導案

日時 平成21年10月9日(金) 5校時

学級 2年A組(男子9名 女子8名 計17名)

授業者 教諭 新沼健

1 主題名 責任のある判断・行動 1-(3)

2 資料名 「リクエスト」(中学生の道徳2年 自分を考える: 暁教育図書)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章「道徳」の内容1-(3)には、「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ」とある。

自ら考え判断し、実行し、その行為の結果に責任を持つことが道徳の基本であり、付和雷同することなく、責任転嫁もせず、自らの規範意識の高まりの中で自らを律していくことが人間には求められる。

中学生の時期では、自我に目覚め、自主的に考え、行動できるようになるが、一方で自由とわがままをはきちがえたり、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されていることも少なくない。また、自分の行為が周囲にもたらす影響について深く考えることが出来ない場面も多い。

そこで、自己の規範意識に従って、自分の行為について深く考え、責任のある判断・行動が取れるように指導することが大切である。

(2) 生徒について

2年A組の生徒達は、去年からの生活の中で、係活動を自主的に行えるようになっていたり、学級の取り組みを教師から指示がなくても、少しずつ考えられるようになってきている。

しかし、自分の都合しか考えず、その行動の結果や周囲への影響までは考えることが出来ず、身勝手な判断で行動してしまうこともまだ見られる。

そこで、生徒達には、よく考えて判断し行動することの大切さを理解させ、誠実に行動しようとする態度を育てたい。

(3) 資料について

この資料は、友人が入院中でその友達を励ます為と嘘をつき、リクエストが採用されることになった主人公が、次第に良心の呵責にさいなまれる姿を描いた作品である。

主人公達は、友人が入院中であり、それを励ましたいからリクエストした、という嘘をつく。それは、自分勝手な判断であり、その行為が周囲に及ぼす影響については考えていない。

それに対して、DJを務めていた岩田さんは亡くなってしまうが、録音テープの放送という形であっても亡くなったその日まで放送を続ける姿には、自らの仕事や役割、番組を聴く者への誠実さが感じとれるのである。

軽い気持ちで嘘をついてリクエストをした主人公達の姿を通して考えることで、浅はかな思考や行動を戒め、誠実な生き方をしようとする態度の育成に有効な資料だと考えられる。

なお、本資料は年間指導計画では、3月の指導資料となっている。この資料を10月に行うのは、11月に生徒会役員選挙を控え、学校のリーダーとなる時期が迫っているからである。

リーダーとなった際、自分の身勝手な判断や行動が周囲(全校、特にも後輩)に与える影響が大きいことを理解し、善悪の判断をしっかりとした上で、その判断に責任をもつことが求められる。リーダーになる前に、責任のある判断・行動の重要性を少しでも感じて欲しいという願いから、本資料をこの時期に扱った。

(4) 他の教育活動との関連

学級生活の係活動、生徒会活動における委員会活動などで、生徒達は一人一役以上を務め、自分の役割を果たしているが、その責任の重さや自分の行為の結果について深く考えることは少ないようである。本資料の指導の後、改めて、自分の役割の責任の重さや後先を考えない軽率な行為がないかをじっくり考えさせたい。

4 指導の方針

(1) ねらい

物事の善悪を良く考え、自主的に判断して誠実に行動し、その結果についても責任をもつ態度を育てる。

(2) 指導構想

まず、資料についてじっくり考える時間を確保する為、生徒には、事前にこの資料を読ませ、資料内容について理解させた上で指導に当たる。

展開部分においては、まず、リクエストが採用された山本君の言葉を聞いた時の主人公達の気持ちを理解させる。ここでは、友人がリクエストを採用されたことに悔しさを感じると同時に、自分もなんとかしてリクエストを採用されたいという気持ちになっていることをつかませる。

その上で、友達のリクエストが採用されることにライバル意識を燃やして、友人が癌であるという嘘の情報を書き込み、リクエストを行った部分に着目させたい。主人公達のとった行動は、自分達の行為の結果を深く考えず、身勝手なものであることに気づかせると同時に、生徒も自分の行為の結果について深く考えていなかったことがないかを考えさせたい。

そこで、主人公達の行為の善悪ではなく、「リクエストが採用される為に嘘の情報を書き込んだ気持ちを理解できるかどうか」を考えさせ、主人公達がどのような気持ちでリクエストを行ったのかを考えさせたい。この発問をする際、

① A 気持ちは理解できる(分かる)。

B 気持ちは理解できない(分からない)。

のどちらの心情が大きいかを、心情円板を用いて生徒に表示させる。

② 心情の大きい立場ごとに分かれて、お互いの意見を発表する。

③ 同じ立場同士、あるいは別の立場の人の意見を聞いての感想や考え方をさらに述べる。

という流れで、意見交流を図りたい。(意図的交流の場の設定)

また、展開部分の最後では、伊藤君が帰りのバスの中で泣いてしまい、窓に映る自分がひどく歪んで見えた部分に注目させたい。単に伊藤君が泣いて自分がひどく歪んで見えた理由を問うのではなく、伊藤君達3人が今後どう生きていくべきか、友人の立場としてアドバイスの言葉を考えさせ、出来るだけ多くの生徒に自分の言葉で話させる。また、自分の言葉でまとめることができなかつた生徒にも、周りの人の意見を聞いての感想や考え方を述べさせたい。

終末部分では、心のノートp24～25を読み、「物事を深く考えない自分」がないかどうかを、資料の内容とも照らし合わせながら考えさせ、記入させることでまとめとする。

(3) 本時の展開

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 (3)	1 リクエストについて触れる。	○あなたは、ラジオ番組にリクエストしたことはありますか。 ・したことはない。 ・したことはあるが、採用されたことはない。	・ラジオ番組のリクエストについて簡単に触れる。
展開	2 資料「リクエスト」のあらすじを確認する		・資料については、事前に読ませているので、あらすじは教師側で簡単に確認する。

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
展開 (40)		<ul style="list-style-type: none"> ・自分達のやろうとしていることがどう いう結果を生むかを、じっくり考えてか らやろうよ。 ・友達に負けたくないとか、面白そうと かそんな理由で決断しないで、しっかり 考えながら行動していかないと駄目だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ多くの生徒 に発表させるとともに、 考えがまとまらない生徒 にも、周りの意見を聞いて どう感じたか、などを 発表させ交流を図りたい。
終 末 (7)	<p>6 心のノート p 24～ 25を読む。</p> <p>7 今日の学習の自己評 価を行う。</p>	<p>○自分のどこかに「物事を深く考えない 自分」がないかを考えてみる。 心のノートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の内容と自分を照 らし合わせながら記入さ せる。

(4) 評価の観点

物事の善悪を良く考え、自主的に判断して誠実に行動し、その結果についても責任をもつことが大事だと思う気持ちを持つことができたか。

(5) 板書計画

リクエスト

山本君

リクエストを採用される

対抗意識、悔しい、自分も採用されたい

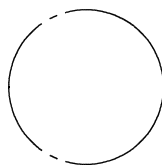
伊藤君達

友人が癌だと嘘の手紙を出してリクエスト

リクエストが採用される。

○この行為

- A 理解できる (赤)
- B 理解できない (白)



・嘘の程度は良くないが、負けたくない気持ち大きかった

・少しくらいの嘘なら私もついたかも

・もし、嘘がばれたら大変だから、理解はできない

(交流最大9分)

リクエストが続くにつれて

「謝ろう」

これ以上嘘をつくのは良くない。

嘘をつき続けるのは辛い

岩田さんを騙し続けていることが心を苦しめたから

ラジオ局にて「思わず耳をふさぐ」

より一層、岩田さんに対して申し訳ない

もうだまし続けていることに耐えられない

(ここままで、一旦内容を板書を使って整理する)

岩田さんの死を知り

自分がひどく歪んで見えた。

主人公達に対してアドバイス

- ・行動する前に、よく考えた方が良い
- ・友達に負けたくない、のような理由で決断しては駄目
- ・嘘をつかずに生活していくべきだ

○伊藤君達三人

友人が癌だと嘘の手紙を出してリクエスト↑山本君への対抗意識

リクエストが採用される。

この行為を 理解できるかできないか

- ・嘘の程度は良くないが、負けたくない気持ちが大きかった
- ・少しくらいの嘘なら私もついたかも
- ・もし、嘘がばれたら大変だから、理解はできない

○リクエストに答える岩田さん

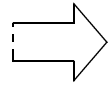
- ・上田君の支えになれば
- ・少しでも応援したい

リクエストが続くにつれて

これ以上嘘をつくのは良くない。
きちんと謝ろう

岩田さんの死

自分がひどく歪んで見えた。



主人公達に対してアドバイス

- ・ 行動する前に、よく考えた方が良い
- ・ 友達に負けたくない、のような理由で決断しては駄目
- ・ 嘘をつかずに生活していくべきだ

指導案略案

	学習活動	発問と予想される生徒の反応 教師の発言と指示	指導上の留意点
導入 (3)	1 リクエストについて触れる。	○今日学習する資料は「リクエスト」であり、事前に読んでもらった訳ですが、みんなは、ラジオ番組のリクエストをしたことがありますか？ ・ある ・ない (ある生徒がいた場合) 自分のはがきが読まれたり、リクエストが採用されたことはありますか？ ・ある ・採用されたことはない ●恐らく経験がない生徒が多数と思われるので、簡単に説明 ラジオ番組では、あるテーマが出され、そのテーマにまつわる話をはがきに書き、投稿します。そして、自分が流して欲しい曲も書き、採用されるとその曲が流れるという仕組みになっています。	・ラジオ番組のリクエストについて簡単に触れる。
展開	2 資料「リクエスト」のあらすじを確認する 3 山本君の言葉を聞いた時の主人公達の気持ちを考える。 (説明) (発問に至るまでの流れ) ここまでで 10分	では、この資料はどんな形でのリクエストになっているのかを確認していきます。 この資料で登場してくるのは伊藤君達と山本君。そして彼らはラジオ番組「デイズ・イブニング」に曲をリクエストしていた。 ある日、山本君が得意げな顔をして、伊藤君のクラスに来るが、それは、「デイズ・イブニング」にリクエストが採用されたことを自慢しに来た。 ○山本君から色々言われた時の伊藤君の気持ちはどうだったと思う？ ・僕はまだ一回も取り上げられていないのに…。なんで、山本君だけ… ・悔しい。 ・僕も採用されたい。 ・採用される為には僕も頭を使わないと →ライバル意識が以前からあり、それが何としてでも同じように採用されたいという強い願いにつながっている そして、彼らはリクエストを採用される為に、「上田君が病気で入院中であり、彼が癌である。だから彼を励ます為に曲をかけて欲しい」という嘘をついてリクエストをする。 →そのリクエストが採用される。	・資料については、事前に読ませているので、あらすじは教師側で簡単に(所々反応させながら) ・紙板書 (伊藤君・山本君) (デイズ・イブニング) ・主人公達が嘘のリクエストをするに至った理由につながる部分なので、しっかりととらえさせたい。

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
(40)	<p>4 主人公達の取った行動について考える。</p> <p>活動時間 13分</p> <p>立場決定+理由 4分</p> <p>意図的交流 最大9分</p>	<p>○嘘をついてまで、リクエストを採用されたいという、主人公達の気持ちを理解できますか。</p> <p>A 理解できる B 理解できない</p> <p>どちらの心情が大きいかを心情円板を用いて示し、その理由も述べる。</p> <p>やり方の検討</p> <p>A > B という生徒はいないことが予想される。</p> <p>そこで、%も記入させ、立場の差が無くても、心情内の割合の同じ程度のもの同士で交流できるようにする</p> <p>→机間指導をして、だれがどれくらいの割合を示しているかをチェックする。</p> <p>心情円板を全体に提示させた後、意見交流に移る</p> <p>パターン</p> <p>Bの50%～60% 1 Bの60%～80% 2 Bの80%～100% 3</p> <p>意図的指名をする。</p> <p>→それにより、割合に近いもの同士を発表させる。また、違う生徒にも発表させながら、進める。</p> <p>補助発問</p> <p>嘘がもう少し些細なもの（深刻なもの）じゃないとすれば、心情は変わりますか？（変化の度合いだけを見る）</p> <p>【反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘘の内容はひどいが、友達に負けたくないという気持ちがあったからしてしまったと思う。 ・もう少し違う内容の嘘だとしたら、採用されたくて、ついリクエストしたかも。 ・嘘をついてまでリクエストを採用されたいとは思わない。 ・もし嘘だとばれたら大変だから、ちょっと理解できない <p>リクエストが採用され始めますが、主人公達は最初は喜んでいましたが、次第に複雑な気持ちになり、謝りに行くよね</p>	<p>・自分の立場に置き換えながら、行為の善悪ではなく、主人公達の気持ちについて考えさせたい。</p> <p>心情円板を用い、A（赤）、B（白）の割合で心内を表させる。</p> <p>・心情の割合も記入させることで、同じ立場内で</p> <p>・意見交流の際は、それぞれの立場の生徒から意見を発表させて終わりではなく、同じ立場の生徒同士での意見交流、違う立場の意見を聞いての感想や考えを聞くなど、考えが深まるようにしたい。</p> <p>（意図的交流の場の設定）</p> <p>机間指導を通し、1～3のグループにチェックする</p>

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
展開 (40)	<p>5 罪悪感が生まれだした主人公の姿について考える。</p> <p>(3分)</p>	<p>◎主人公達が岩田さんに謝ることにしたのはどうしてか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘘だと思わず、リクエストに応じてくれることが辛いから。 ・いつまでも嘘をつくのは悪いと感じだしたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公達の嘘のリクエストに対しても、誠実に対応する岩田さんの姿から後ろめたさを感じていることをつかませる。 ・本時の中心発問なので、じっくりと考えさせたい。
	<p>(3分)</p> <p>活動時間 11分</p> <p>記入 4分</p> <p>交流 7分</p>	<p>切り返し発問 山本君よりも採用されているから、うれしいのでは？</p> <p>○放送局で、自分達のリクエストが読まれた時、伊藤君が思わず耳をふさいでしまったのはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩田さんは嘘だと思わず信じきっているのが自分達にとってはとても辛いことだから。 ・岩田さんを騙し続けていることに心を痛め始めているから。 <p>謝りに行ったものの、岩田さんは亡くなってしまったことが分かり、最後バスに乗って帰る際、伊藤君は涙します</p> <p>◎これから伊藤君を含め、3人はどういう生活を送るべきだと思いますか 3人の友達として、アドバイスの言葉をかけてみよう。(道德シートに記入して発表する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはり嘘をつく、その結果は良くないよ。嘘をつかずに、生活していくべきだよ。 ・自分達のやろうとしていることがどういう結果を生むかを、じっくり考えてからやろうよ。 ・友達に負けたくないとか、面白そうとかそんな理由で決断しないで、しっかり考えながら行動していかないと駄目だ。 <ul style="list-style-type: none"> ・同じだなあ、とかちょっと違うなあとかあったら発表してみて ・他の人の意見を聞いてどう思った？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩田さんの姿を通して、自分達のとった行動が軽率であったことを感じている主人公達の心の動きをとらえさせたい。 ・板書を使ってここまでの学習内容をまとめる。 ・道德シートに記入させた上で発表させたい。 ・友達としてアドバイスさせることで、資料だけにとどまらず、自分の問題としてとらえさせたい。 ・出来るだけ多くの生徒に発表させるとともに、<u>考えがまとまらない生徒にも、周りの意見を聞いてどう感じたか、などを発表させ交流を図りたい。</u>

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
未 (7)	心のノート p 24～25 を読む。 (6分) 7 今日の学習の自己評価を行う。(1分)	「リクエスト」では、伊藤君が結果についてよく考えずに、嘘をついてリクエストしてしまったということから、全てが始まっていく訳ですが、 ・今までの自分の生活を振り返って、行動する前にじっくり考えずに行動してしまったことはないですか？ 心のノートの「自分を見つめて」の所に自分のどこかに「物事を深く考えない自分」がないかを考えて記入してみよう。 あの時、こんな風にしてしまったということを振り返って記入してみよう ・発表については、特に求めない ・今日の学習についての自己評価を行う	らし合わせながら記入させる。

(4) 評価の観点

物事の善悪を良く考え、自主的に判断して誠実に行動し、その結果についても責任をもつことが大事だと思う気持ちを持つことができたか。